

概説

このNIMモジュールは、高エネルギー物理学実験および素粒子実験用に開発されたものです。各種計測装置からのアナログ信号を独立した8チャンネルの同軸コネクタで受けます。モジュールの内部には遅延素子、バッファアンプの回路で構成されています。出力は3つの同じアナログ信号(約1倍)をファンアウトして50出力されます。内部遅延素子はタップ1NSEC 最大可変10NSEC、遅延時間はサイドパネルを外して内部ジャンパー端子にて設定します。アナログ出力に際して各チャンネル独立に出力オフセットの微調整を有しております。

特徴

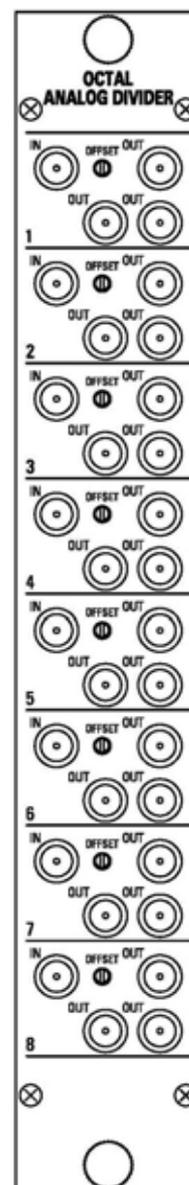
NIM1幅モジュール

入力：50 レンジ 0V~ 2V (ユニポーラ)

遅延素子： タップ1NSEC 最大5NSEC

： タップ2NSEC 最大10NSEC

出力信号：50 3出力 最大 2V



入力 / 出力信号

入力信号 : ユニポーラ 0 ~ - 2 V
入力インピーダンス 5 0
レモ型 同軸コネクタ使用

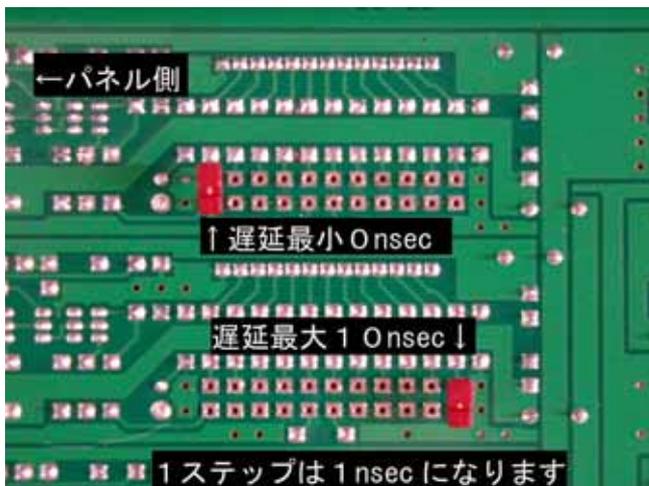
出力信号 : ユニポーラ 0 ~ - 2 V 3 出力
出力インピーダンス 5 0
レモ型 同軸コネクタ使用
(ゲイン調整は内部 可変抵抗により微調整可能です。)

仕様

チャンネル数 : 8チャンネル
調整範囲 : OFFSET \pm 1 0 mV 可変
(オフセット調整は必ず使用環境にて未使用出力も 5 0 Ω ターミネーションを施して調整してください)

内部遅延素子 : タップ 1 NSEC 最大 1 0 NSEC
最小入出力遅延時間 : 4 NSEC 以下

周波数特性 : 1 0 0 MHz 以上 (- 3 d B)
形状 : N I M 1 幅モジュール
使用電源、電流 : - 1 2 V 0 . 2 A
(無出力時) + 6 V 0 . 2 A
計 3 . 6 W



遅延調整はサイドパネル外して調整します
